

## 第10講 戦間期の欧米諸国の動向～第二次世界大戦

- ① 1920年代のアメリカは民主党全盛期で、孤立主義外交をとったため、不戦条約に調印しなかった。
- ② 1920年～41年までのアメリカの出来事として、正しくないものを1つ選べ。  
①ワスプの形成      ②移民の促進      ③女性参政権      ④自動車・ラジオの普及
- ③ 戦間期のイギリスの内政・外政について、正しいものを1つ選べ。  
①初の労働党内閣の首相となったロイド＝ジョージは、ヒトラーに宥和政策をとった。  
②アイルランドは、WW I後に蜂起を起こし、自治を獲得して、エールと国名を変えた。  
③WW I後、エジプトはウラービー運動の結果、タキン党を中心に独立を果たした。  
④マクドナルドによる拳国一致内閣により、ブロック経済が敷かれ、保護貿易が取られた。
- ④ フランスのポワンカレ内閣の時のルール出兵で誘った国を、次の①～④のうちから1つ選べ。  
①オランダ      ②ポーランド      ③デンマーク      ④ベルギー
- ⑤ ヴァイマル共和国首相ヒンデンブルクは、レンテンマルクを発行したことにより、大インフレを引き起こしたが、まもなく、ヒトラー内閣で終息した。
- ⑥ 賠償金問題に関する出来事です。年代順に並べ替えなさい。  
①ドーズ案      ②フーヴァー＝モラトリウム      ③ヤング案      ④ローザンヌ会議
- ⑦ 1930年代の出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから1つ選べ。  
①イギリスでは、ウェストミンスター憲章に基づき、オタワ英連邦会議が開かれた。  
②ドイツでは、ヒトラーが政権を掌握し、国際連盟を脱退した。  
③イタリアでは、ムッソリーニがファシスト政権を樹立し、ローマ進軍を行った。  
④アメリカ合衆国では、フランクリン＝ローズヴェルトがニューディール政策を展開した。
- ⑧ ヒトラーの内政に関する用語を年代順に並べなさい。  
①フューラー就任      ②ミュンヘン一揆      ③ヒトラー内閣成立      ④再軍備宣言
- ⑨ スペイン内戦(1936～1939)について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを1つ選べ。  
①ファシズムに反対する国際義勇軍が組織された。  
②イギリスとフランスは積極的に人民戦線を支援した。  
③ソ連邦はナチスとの緊張を避けようと、中立の立場をとった。  
④人民戦線はフランコ将軍に指導されていた。
- ⑩ ヒトラーの外交政策として正しいモノを1つ選べ。  
①エチオピア侵入      ②フィンランド侵攻      ③ザール併合      ④ユーゴ解体

- ⑪ ヒトラーによる東方侵略の各段階を示した順番として正しいものを1つ選べ。
- ①オーストリア併合—ダンケルクの戦い—チェコスロヴァキア解体—ポーランド侵攻
  - ②チェコスロヴァキア解体—ポーランド侵攻—オーストリア併合—ダンケルクの戦い
  - ③ミュンヘン会談—チェコスロヴァキア解体—ダンケルクの戦い—ポーランド侵攻
  - ④オーストリア併合—ミュンヘン会談—チェコスロヴァキア解体—ダンケルクの戦い
- ⑫ イギリス首相チェンバレンは、ベルリン会談の際、宥和政策で臨んでナチスの要求を認めた。一方で、フランスと当事国オーストリアは、シュレジエン地方処理のために開かれたこの会談への参加を認められなかった。
- ⑬ 次の組み合わせで誤っているものを1つ選べ。
- ①ブリアン — スペイン人民戦線内閣
  - ②ピウスツキー — ハンガリー独裁者
  - ③フランコ — ポルトガル独裁
  - ④ヘミングウエー — 国際義勇兵
- ⑭ ヒトラーはポーランドに対して、ダンツィヒとザール地方の割譲を要求し、その後、ベルギーに侵入すると、まもなく独ソ不可侵条約を結んだ。
- ⑮ パリ陥落した時のフランスはどうなったか？
- ①北にヴィシー政府ができた。
  - ②北はナチスの占領下に置かれた。
  - ③南にド=ゴールの自由フランス政府ができた。
  - ④南は反ドイツ政府が維持できた。